

オータムスクール(ELyT School in Sendai - Autumn 2010) 開校

グローバルCOE「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」は平成22年10月24日から11月3日の11日間、フランスの2つのグランゼコールECLとINSA-Lyonを主体に各国から大学院生23名（博士課程後期11名、同前期12名）を招致し、東北大学からも多くの大学院生が参加して、片平キャンパスを中心にオータムスクール ELyT School in Sendai - Autumn 2010を開校した。（使用言語：英語）



同オータムスクールは以下の様なプログラムで構成された：日本の歴史・文化講義（東北大学大西仁教授）、学術講演（東北大学圓山重直教授、大隅典子教授、大谷栄治教授、後藤孝教授、井上邦雄教授、庄子哲雄教授、ECL Philippe Kapsa 教授、INSA-Lyon Jean-Yves Cavaille 教授）、東北大学研究施設の見学、学生の研究室体験、学生による Presentations and Discussions、東北電力女川原子力発電所とJR東日本新幹線保全センターの見学等



<学術講演の様子>



<女川原子力発電所にて>

このオータムスクールを通じて学生達は、1) 日本の歴史・文化、また日本人に関して理解を深めた、2) 学術講演は科学・工学に関する教養・常識を涵養し、将来の進路選択に示唆を与えた、3) 学生自身の発表と討論参加は今後の研究活動のための大きな経験となった、等多くの成果をあげた。

<日本文化講座>



このオータムスクールは昨年度フランスリヨンで開校した Tohoku Lyon Summer School に次いで 2 度目の試みであり、今後毎年リヨンと仙台で交互に開校することを計画している。

<さくらホールでの交流会>

